投資信託運用レポート 作成基準日: 2025年6月30日

SMAM・バランスファンドVA株40型(適格機関投資家専用)

【投信協会商品分類】追加型投信/内外/資産複合

1/5

* 当資料に記載されている数値は小数点第2位以下を四捨五入したものです。

①主として、国内株式マザーファンド(A号)受益証券、国内債券マザーファンド(B号)受益証券、外国株式マザーファンド(A号)受益証券および外国債券マザーファンド(A号)受益証券への投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式および外国債券に分散投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。

②基本資産配分比率は下記の通りです。ただし、それぞれの資産の時価変動等に伴う各資産比率の変化については一定の範囲を設け、調整を行います。

株	式		40%	債	券		60%
		国 内	25%			国 内	45%
		外 国	15%			外 国	15%

③実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないことを基本とします。

● 基準価額および純資産総額

	6月30日	前月比
基準価額(円)	25,681	654
純資産総額(百万円)	4	0

※ 基準価額は1万口当りに換算した価額です。

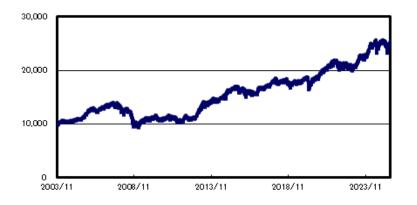
● 騰落率

	基準日	騰落率
1ヵ月	2025.5.30	2.61%
3ヵ月	2025.3.31	4.82%
6ヵ月	2024.12.30	0.09%
1年	2024.6.28	1.29%
3年	2022.6.30	23.93%
設定来	2003.11.21	156.81%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。 ※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 2003.11.21)



- 基準価額は、信託報酬控除後です。当ファンドの信託報酬は年率0.605%(税抜き0.55%)です。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 資産構成

	比率	基本資産配分
国内株式マザーファンド(A号)	26.9%	25%
外国株式マザーファンド(A号)	16.1%	15%
株式合計	42.9%	40%
国内債券マザーファンド(B号)	42.4%	45%
外国債券マザーファンド(A号)	14.5%	15%
債券合計	56.9%	60%
現預金等	0.2%	-
合 計	100.0%	100 %

★ 大樹生命からのお知らせ

●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがいまして、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。●当ページの運用実績に関する内容は全て過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに、大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。●当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。●出投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有するということではありません。●他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり一約款等を必ずご覧ください。

[■]このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■当ファンドは、直接またはマザーファンド受益証券を通じて、株式等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は変動致します。■投資信託は、元本や利回りが保証されているものではありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスク(価格変動リスク、為替リスク、信用リスク等)は、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。



作成基準日: 2025年6月30日

【国内株式: 国内株式マザーファンド(A号)】

● 基準価額および純資産総額

	6月30日	前月比
基準価額(円)	26,047	1,091
純資産総額(百万円)	1,382	39

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

- 13mg r			
	基準日	ファンド	ベンチマーク(*)
1ヵ月	2025.5.30	4.37%	1.96%
3ヵ月	2025.3.31	12.54%	7.52%
6ヵ月	2024.12.30	7.61%	3.83%
1年	2024.6.28	7.94%	4.10%
3年	2022.6.30	71.36%	64.32%
設定来	2003.11.21	417.94%	353.08%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。 ※"設定来"の騰落率は、「SMAM・バランスファンドVA」設定日前日を基準としております。

	6月30日	
株式	98.9 %	
先物等	0.0 %	
現預金等	1.1 %	
合 計	100.0 %	

● 資産構成 ※1

※1 マサーファント・純資産総額対比 ※2 マサーファント・現物株式評価額対比

● 上位組入業種 ※2

	業種名	比率
1	電気機器	19.4 %
2	銀行業	10.7 %
3	情報·通信業	8.4 %
4	輸送用機器	7.2 %
5	機械	6.4 %
6	陸運業	6.4 %
7	小売業	6.1 %
8	医薬品	4.7 %
9	サービス業	4.3 %
10	卸売業	3.4 %
	その他	22.9 %
	合 計	100.0 %

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 2000.4.3)



- 基準価額は、2003.11.20を10000として指数化しております。
- 上記がうフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。 * 当ファンドはTOPIX(東証株価指数、配当込み)をベンチマークとします。 TOPIXは、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」

TOPIXは、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はJPXに帰属します。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 上位組入銘柄 ※1 (組入全銘柄数 98)

	銘柄名	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	4.9 %
2	トヨタ自動車	3.4 %
3	ソニーグループ	3.3 %
4	スギホールディングス	3.3 %
5	日立製作所	3.3 %
6	三菱重工業	2.6 %
7	ディスコ	2.5 %
8	任天堂	2.3 %
9	日本電気	2.3 %
10	スカパーJSATホールディングス	2.2 %
	その他	68.9 %
	合 計	98.9 %

● ファンドマネージャーコメント (国内株式)

国内の株式市場は上昇しました。

上旬は、米中貿易摩擦をめぐる警戒感が強まったものの、その後、米中首脳の電話協議を受けて交渉進展期待が高まり、一進一退の動きとなりました。中旬は、イスラエルによるイラン核関連施設攻撃を受けて中東情勢が緊迫化したことを嫌気する場面があったものの、米ドル高・円安が進んだことなどから、もみ合う展開となりました。下旬は、イスラエル・イラン停戦合意、米国の早期利下げ期待、米ハイテク株高を好感し、年初来高値を更新しました。

業種別では、その他製品、証券・商品先物取引業、機械などが市場をアウトパフォームした一方、輸送用機器、海運業、鉄鋼などがアンダーパフォームしました。

<運用経過>

業種配分では、業績改善が見込まれる銘柄などの買い付けを行った結果、「消費安定」などのウェイトが上昇しました。一方、業績の改善ペースが 鈍いと考えられる銘柄などの売却を行った結果、「金融」などのウェイトが低下しました。

データセンターなど成長領域への投資によって中期的な業績拡大が見込まれる日本電信電話(現社名NTT)、高付加価値商品の拡販により中期的に国内外において業績拡大が見込まれるアサヒグループホールディングスなどの買い付けを行いました。一方、KDDI、SCSKなどを売却しました。

★ 大樹生命からのお知らせ

●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがいまして、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。●当ページの運用実績に関する内容は全て過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DS7セットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DS7セットマネジメント・大樹生のではありません。●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。●世の特別勘定から当投資信託をまな投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり・約款等を必ずご覧ください。

作成基準日: 2025年6月30日

【国内債券:国内債券マザーファンド(B号)】

● 基準価額および純資産総額

	6月30日	前月比
基準価額(円)	12,978	72
純資産総額(百万円)	398,952	5,719

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

- 11-11-1			
	基準日	ファンド	ヘ゛ンチマーク(*)
1ヵ月	2025.5.30	0.56%	0.53%
3ヵ月	2025.3.31	-0.34%	-0.19%
6ヵ月	2024.12.30	-2.55%	-2.55%
1年	2024.6.28	-2.38%	-2.52%
3年	2022.6.30	-6.34%	-7.33%
組入開始来	₹ 2015.6.2	-0.87%	-3.81%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。 ※"組入開始来"の騰落率は、「SMAM・バランスファント VA」で国内債券マザーファンド(B号)の組入を開始した日 (2015.6.3)の前日を基準としております。

●資産構成 ※1

	6月30日
債券現物	99.3 %
先物等	0.2 %
現預金等	0.5 %
合 計	100.0 %

平均残存年数(年) 8.95

平均利回り 1.55%

● 満期構成 ※2

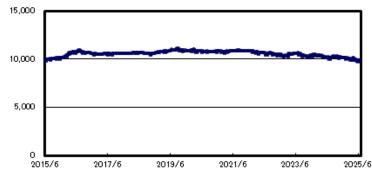
1年未満	0.9 %
1-3年	30.0 %
3-5年	10.7 %
5-7年	5.7 %
7-10年	12.7 %
10年以上	36.7 %
合 計	96.6 %

※1 マザーファンド純資産総額対比

※2 マザーファンド債券評価額対比

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 2000 9 19)



- 基準価額は、2015.6.2を10000として指数化しております。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

* 当ファンドはNOMURA-BPI(総合)をベンチマークとします。 NOMURA-BPI(総合)は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表す る指数であり、NOMURA-BPI(総合)に関する一切の知的財産権その他一切の権利は野村フィデュ シャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、同社は、ファンドの運用成果 に対して一切の責任を負うものではありません。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 種別構成 ※2

国債	62.9 %
政府保証債	0.1 %
地方債	2.2 %
金融債	0.0 %
事業債	32.9 %
円建外債	0.0 %
その他	2.0 %
合 計	100.0 %

● 上位組入銘柄 ※1 (組入全銘柄数 303)

	銘柄名	比率
1	473 2年国債	19.3 %
3	471 2年国債	4.8 %
3	364 10年国債	2.3 %
4 5 6	192 20年国債	1.5 %
5	83 30年国債	1.5 %
6	178 5年国債	1.4 %
7	368 10年国債	1.3 %
8	164 20年国債	1.3 %
9	82 30年国債	1.2 %
10	169 20年国債	1.2 %
	その他	63.4 %
	合 計	99.3 %

● ファンドマネージャーコメント (国内債券)

国内の長期金利(10年国債利回り)は低下しました。上旬は、米関税政策に対する懸念が再燃する中で米国の経済指標が下振れし、米国金利が 低下した局面で国内金利は低下しました。中旬には、イスラエルがイラン核関連施設への攻撃を行ったことでリスク回避の動きとなり、国内金利は当 初一段と低下しました。しかし、両国の対立を背景に原油価格の上昇が進むと、世界的にインフレへの懸念が高まり、内外で金利が上昇する場面も 見られました。その後は、金融政策決定会合後に日銀総裁が政策変更に慎重な姿勢を維持したことや、イスラエルとイランが停戦で合意し原油価格 が下落したこと等から、金利は低位での推移を継続しました。

<運用経過>

デュレーション(投資資金の平均回収期間:金利の変動による債券価格の感応度)は、日銀の買入減額が続くことや米関税政策を巡る各国の交渉 進展の可能性を踏まえ、上旬にショート(短め)としました。中旬には一時ショート幅を縮小しましたが、その後金利低下が進んだことから、ショート幅を 拡大しました。残存期間構成は、日銀の買入減額が中長期債中心となると見込み、同ゾーンをアンダーウェイト(UW)としました。超長期ゾーンにおい ては、金利上昇が進んだことや発行減額が見込まれることから30年ゾーンをオーバーウェイト(OW)としました。種別セクター戦略では、事業債のオー バーウェイト(OW)を継続しました。

★ 大樹生命からのお知らせ

●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがいまして、特別勘定のユニット価格 等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容の お知らせ」をご覧ください。●当ページの運用実績に関する内容は全て過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するもの ではありません。●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネンメント株式会社が、 当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに、大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するもの ではありません。●当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有するということ ではありません。●他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレッ ト、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。

作成基準日: 2025年6月30日

【外国株式:外国株式マザーファンド(A号)】

● 基準価額および純資産総額

	6月30日	前月比
基準価額(円)	65,902	3,639
純資産総額(百万円)	8,545	639

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク(*)
1ヵ月	2025.5.30	5.84%	4.79%
3ヵ月	2025.3.31	11.92%	7.70%
6ヵ月	2024.12.30	-1.18%	-1.34%
1年	2024.6.28	2.25%	4.40%
3年	2022.6.30	81.68%	76.33%
設定来	2003.11.21	840.25%	902.18%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 200043)



- 基準価額は、2003.11.21を10000として指数化しております。
- 上記がうフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。 * 当ファンドはMSCIコクサイインデックス (配当込み、円ベース) をベンチマークとします。 MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース)は、MSCIInc. が開発・公表する指数を当 社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	6月30日
株式	95.2 %
先物等	0.0 %
現預金等	4.8 %
合計	100.0 %
● 国別組入比率※2	
アメリカ	75.9 %
フランス	5.0 %
アイルランド	4.7 %
スイス	4.4 %
イギリス	4.4 %
その他	5.5 %
合 計	100.0 %

● 上位組入銘柄 ※1

(組入全銘柄数 82)

	銘柄名	国名	業種	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	8.0 %
2	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	4.5 %
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.9 %
4	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	2.7 %
5	ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.4 %
6	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.3 %
7	SERVICENOW INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.9 %
8	SCHNEIDER ELECTRIC SE	フランス	資本財	1.8 %
9	INTUIT INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.7 %
10	FORTINET INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.7 %
	その他			64.1 %
		合 計		95.2 %

※1 マザーファンド純資産総額対比、※2 マザーファンド株式評価額対比

● ファンドマネージャーコメント (外国株式)

米国株式市場は上昇しました。上旬は、堅調な雇用統計や米中間の通商協議進展への期待が市場の下支え要因となりました。中旬には、イスラエ ルがイラン核関連施設に対する攻撃を行い、中東情勢のさらなる深刻化懸念で株式市場は下落しました。原油価格の上昇によるインフレ再燃も懸念される中、FOMC(米連邦公開市場委員会)では利下げは見送りとなりました。下旬には、米国の介入によりイスラエルとイランが停戦で合意し、原油 価格も下落したことから、株式市場は再び上昇しました

欧州株式市場は下落しました。ECB(欧州中央銀行)が利下げを実施しましたが、中旬には、中東情勢の深刻化や原油価格の上昇が大きな懸念材

は、一般には、停戦合意を受けて原油価格も急落し、株式市場は下落幅を一部取り戻しました。 (為替)米ドル/円は前月末と比較して概ね横ばいとなりました。月前半は、米雇用統計が警戒されたほど悪化しなかったものの、インフレ指標が市場予想を下回ったことから、もみ合いの展開となりました。月後半は、米国によるイランの核施設への爆撃を受けて一時米ドル高・円安となりましたが、その後イスラエル・イランの停戦合意や米国の早期利下げ期待から下落しました。

ューロ/円は上昇しました。月前半は、米国のインフレ指標が予想を下回ったことから、ユーロ高・米ドル安の展開となりました。中東情勢の緊迫化を 受けて一時米ドルが上昇したものの、月末にかけて、中東情勢が落ち着いたことや米独の金利差が縮小したことから、ユーロ高・米ドル安となりました 米ドル/円が概ね横ばいとなったことから、月を通してユーロ高・円安となりました。

地域配分では、北米のニュートラルウェイト(NW)、欧州のオーバーウェイト(OW)、環太平洋のアンダーウェイト(UW)を継続しました。北米は中長期的な業績成長性の高さを引き続き評価しましたが、政策の不透明感などからNWとしました。欧州は利下げの継続や財政拡大による景気底打ち期待、 バリュエーション(投資価値評価)の相対的な割安感からOW、環太平洋は中国の構造的な成長減速懸念と関税リスクからUWを継続しました。

ハソユー・フョン、「双具」叫 IEI TIMI / WTM 対 IPI / A TYPE A TY -トナーズ・グループ・ホールディングを売却しました

★ 大樹生命からのお知らせ

●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがいまして、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容の お知らせ」をご覧ください。●当ページの運用実績に関する内容は全て過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するもの ではありません。●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、 当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに、大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。●当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有するということ ではありません。●他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレッ ト、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。

2025年6月30日

作成基準日:

【外国債券:外国債券マザーファンド(A号)】

基準価額および純資産総額

	6月30日	前月比
基準価額(円)	34,856	838
純資産総額(百万円)	9,049	247

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 滕茲室

	基準日	ファンド	ベンチマーク(*)
1ヵ月	2025.5.30	2.46%	2.44%
3ヵ月	2025.3.31	1.01%	1.24%
6ヵ月	2024.12.30	-1.91%	-1.74%
1年	2024.6.28	-2.93%	-2.77%
3年	2022.6.30	14.53%	15.16%
設定来	2003.11.21	127.95%	140.80%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 満期構成 ※2

計

7.1 % 6.0 %

25.0 %

18.5 %

22.6 %

20.8 %

100.0 %

1年未満

1-3年

3-5年

5-7年

7-10年 10年以上

合

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 2000.4.3)



- 基準価額は、2003.11.21を10000として指数化しております。
- 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。 * 当ファンドはFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)をベンチマークとします。 FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCの開発し た指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではあり ません。

● 資産構成 ※1

	6月30日
債券	99.3 %
先物等	0.0 %
現預金等	0.7 %
合 計	100.0 %

平均残存年数(年)

8.24

平均利回り

3.43%

● 诵貨別構成 ※2

アメリカドル	39.8 %
ユーロ	34.3 %
中国元(オフショア)	10.2 %
イギリスポンド	6.7 %
カナダドル	3.4 %
その他	5.6 %
合 計	100.0 %

● 上位組入銘柄 ※1 (組入全銘柄数 105)

	銘柄	通貨	比率
1	US TREASURY N/B 4.625 02/15/35	アメリカドル	4.8 %
2	US TREASURY N/B 4.25 01/31/30	アメリカドル	4.7 %
3	US TREASURY N/B 4.5 12/31/31	アメリカドル	4.5 %
4	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO 3.5 05/31/29	ユーロ	3.8 %
5	US TREASURY N/B 4.5 03/31/26	アメリカドル	3.2 %
6	US TREASURY N/B 4 03/31/30	アメリカドル	3.0 %
7	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO 1.5 04/30/27	ユーロ	2.9 %
8	US TREASURY N/B 1.125 05/15/40	アメリカドル	2.8 %
9	UK GILT 4.5 03/07/35	イギリスポンド	2.3 %
10	FRANCE OAT. 0 11/25/29	ユーロ	2.2 %
	その他		65.1 %
	合計		99.3 %
	·	•	

※1 マザーファンド純資産総額対比

※2 マザーファンド現物債券評価額対比

● ファンドマネージャーコメント (外国債券)

米国では、長期金利(10年国債利回り)は低下しました。上旬は、経済指標が強弱混在となる中、一進一退となりました。その後も、インフレ指標が 市場予想を下回ったことが金利低下要因となった一方で、イスラエル・イランの交戦を受けて原油価格が急騰したことが金利上昇要因となり、一進一退の展開が続きました。FOMC(米連邦公開市場委員会)は市場の想定ほどハト派(景気を重視する立場)的とは捉えられなかったものの、月末にか

はない。FONCE は、FONCE によっている。 FONCE によっている。 FO

(為替)米ドル/円は前月末と比較して概ね横ばいとなりました。月前半は、米雇用統計が警戒されたほど悪化しなかったものの、インフレ指標が市場を表している。 場予想を下回ったことから、もからいの展開となりました。月後半は、米国によるイランの核施設への爆撃を受けて一時米ドル高・円安となりましたが、

その後イスラエル・イランの停戦合意や米国の早期利下げ期待から下落しました。 ユーロ/円は上昇しました。月前半は、米国のインフレ指標が予想を下回ったことから、ユーロ高・米ドル安の展開となりました。中東情勢の緊迫化 を受けて一時米ドルが上昇したものの、月末にかけて、中東情勢が落ち着いたことや米独の金利差が縮小したことから、ユーロ高・米ドル安となりま した。米ドル/円が概ね横ばいとなったことから、月を通してユーロ高・円安となりました。

〈運用経過〉

債券国別配分は、ユーロ圏内において投資制限上の理由から格付けの低いイタリアのアンダーウェイト(UW)を継続する一方、スペインをオーバー ウェイト(OW)としました

通貨配分は、ユーロや英ポンドなどを米ドルに対してOWとしました。 デュレーション(投資金の平均回収期間:金利の変勢による債券価格の感応度)は、米国とユーロ圏ともに月初は中立でしたが、月を通して長め とし、月末にはユーロ圏は中立としました。英国は月末にかけて長めとしました。中国は、中立を維持しました。ポートフォリオ全体では、月を通して長

残存構成は、米国は月初は長期をUWとしましたが、デュレーションの長期化により中期と長期をOWとしました。月末では中期と長期はOW、超長期 ートラルウェイト(NW)としました。ユーロ圏は長期をNWからOWへと変更し、月末では中期をOW、長期をOW、超長期をUWとしました。英国は長 期をNWからOWへ変更しました

種別配分は、国債以外の債券の組み入れを継続しました。

★ 大樹生命からのお知らせ

●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがいまして、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容の お知らせ」をご覧ください。●当ページの運用実績に関する内容は全て過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するもの ではありません。●当ページは、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、 当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに、大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するもの ではありません。●当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有するということ ではありません。●他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレッ ト、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。